

長門支部事業報告

支部長 石井恵子

活動目標	地域包括ケアにおける看護職の連携を強化する 地域ケアサービスにおいて地域住民の健康増進活動を推進する
評価と今後の課題	令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況により、活動を自粛した。会議等は、支部メールや書面会議で開催。感染状況に配慮しながら、行政等の事業と連携し研修会に参加していった。次年度は、コロナ禍において、いかに活動を展開していくかが課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育 (1)一般教育研修 ナーシングスキル動画講義 「新型コロナからみえてくるもの ～人や自分を責めることなく看護の仕事が続けて行く秘訣 看護は続けることで寛容になれる仕事～」 10/14(木) 2)学会等学術振興に関する事業 (1)支部看護研究指導…オンラインによる指導 2回実施(7/1・10/28) 3病院・10グループが参加 看護研究発表会は延期。
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 (1)一般教育研修の企画…各施設で実施。 2)看護管理者会議 (1)医療安全管理者会議 … 中止 (2)長門市内の病院・施設等の看護管理者会議 12/3 18名
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」 看護の日・看護週間で施設ごとに検討…中止 2)まちの保健室 コロナ禍で、自粛 (1)コロナワクチン接種会場で、感染対策の継続(ブレークスルー感染の情報等)について、リーフレット 1500枚 配布 3)国際助産師の日事業 「助産師まつり」… 中止 4)進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 (1)9月に協議会 1回 書面会議 (2)研修会 長門市在宅医療介護連携推進事業と連携し参加 10/28 コロナ禍における在宅療養事例検討会 『コロナ禍の在宅看取り』 20名 11/19 「虐待」について 10名 12/22 「こころのケア」 18名
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)地域の看護職員交流会 中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会 (1)7月支部集会(R3.7.21)後 1回目実施。9月 支部メールで連絡 (2)12/3 令和3年度の活動のまとめ 令和4年度の活動について 8名 2)支部委員会 3)広報活動 (1)県協会「きらめき」への投稿 10月上旬 (2)支部の広報誌「ふれあい」 7月発行 4)地域会議への出席 (1)長門市防災会議 11月 書面会議 (2)健幸ながと21推進協議会 書面会議 (3)ながと健幸百寿プロジェクト専門会議 令和4年3月22日 (4)長門市在宅医療・介護連携推進事業協議会 9月 3月 書面会議 (5)長門市地域ケア代表者会議 令和4年3月24日 (6)長門医療圏地域医療構想調整会議 9月 2月 書面会議